

大単元名	1. わたしたちの生活と政治
中単元名	1. わたしたちのくらしと日本国憲法

### 【到達目標】

知・技	○ 日本国憲法は、国民主権、基本的人権の尊重、平和主義の基本的な考え方にもとづいて、天皇の地位、国民としての権利や義務など、国や国民生活の基本を定めていることがわかる。
	○ 市政などの地方政治や国政は、日本国憲法の基本的な考え方にもとづいて行われていることがわかる。
	○ 日本国憲法と国民生活との関係について見学・調査したり、資料を調べたりして、わかったことをまとめることができる。
思・判・表	○ 日本国憲法が国民生活に果たす役割について考え、文などで表現したり、説明したりすることができる。
	○ 市や国の取り組みなどから、日本国憲法と国民生活との関係について多角的に考え、文などで表現することができる。
主体的に学習に取り組む態度	○ 日本国憲法と国民生活との関係について、学習の進め方を見直ししながら進んで調べたり考えたりしようとする。
	○ 学習をもとに、日本国憲法が国民生活に果たす役割の大切さについて、関心をもって考えようとする。

### 【評価規準】

知・技	○ 国民生活に関わる法やきまりは、日本国憲法にもとづいていることを理解している。
	○ 日本国憲法の基本的な考え方として、三つの原則があることを理解している。
	○ 日本国憲法の「基本的人権の尊重」の意味や内容を調べ、ノートにまとめている。
	○ 日本国憲法では、様々な国民の権利を基本的人権として保障し、同時に国民が果たさなければならない義務も定めていることを理解している。
	○ 政治に参加する権利(参政権)は、国民にとって重要な権利であり、国民主権にもとづいていることを理解している。
	○ 天皇の地位や国事行為について調べ、ノートに整理している。
	○ 日本国憲法の「平和主義」の精神は、かつて日本が経験した戦争にもとづいていることを理解している。
	○ 見学・調査したり、資料を活用したりして、自分がくらす地域で行われている平和への取り組みについて調べている。
思・判・表	○ 国民の権利と義務について、国民生活とどのような関わりがあるか考え、発表している。
	○ 基本的人権の尊重の考え方と国民生活との関わりについて考え、文などにまとめている。
	○ 政治に参加することの大切さについて、市や国の政治を国民生活と関連付けて考え、根拠を明確にしなが話し合っている。
	○ 平和への国民の願いが、日本国憲法や市や国の政治、国際社会での立場に、どのように生かされているか考え、話し合っている。
	○ 日本国憲法の基本的な考え方と国民生活との関わりを多角的に考え、文などにまとめている。
主体的に学習に取り組む態度	○ 日本国憲法と国民生活との関わりについて、調べたいことを考え、自分で学習問題をつくっている。
	○ 日本国憲法が国民生活に果たす役割の大切さを考え、自分のくらしと関連付けて考えようとしている。
	○ 「わたしたちのくらしと日本国憲法」の学習をして、わかったことを自分でふり返ってまとめている。
	○ 学習をもとに、これから自分のくらしの中で、どのように日本国憲法を生かすことができるのか考え、自分のことばでまとめている。

大単元名	1. わたしたちの生活と政治
中単元名	2. 国の政治のしくみと選挙

### 【到達目標】

知・技	○ 国会(立法)・内閣(行政)・裁判所(司法)がそれぞれ独立し、国の政治を分担して進めていることがわかる。
	○ 国の政治は、国民生活の安定と向上を図る大切な働きをしていることがわかる。
	○ 国の政治と国民生活との関係について見学・調査したり、資料を調べたりして、わかったことをまとめることができる。
思・判・表	○ 政策の内容や計画から実施までの過程、法令や予算との関わりなどから、国の政治の取り組みをとらえて、国民生活における政治の働きを考え、文などで表現することができる。
	○ 国会、内閣、裁判所の各機関が関わり合って国の政治が行われていることや、各機関と国民との関係から、国民としての政治への関わり方について多角的に考え、文などで表現することができる。
主体的に学習に取り組む態度	○ 国の政治と国民生活との関係について、学習の進め方を見直しながらい進んで調べたり考えたりしようとする。
	○ 学習をもとに、国の政治が国民生活に果たす役割の大切さについて、関心をもって考えようとする。

### 【評価規準】

知・技	○ 国の政治の方向を決める国会の働きやしくみについて理解している。
	○ 国会は、国民が選挙で選んだ国会議員から構成されていることを理解している。
	○ 国民が政治に参加するためには、選挙権が必要であることを理解している。
	○ 資料などから、税金のしくみや働きについて調べている。
	○ 内閣は、国会で決められた予算や法律にもとづいて、国の仕事をしていることを理解している。
	○ 内閣は、内閣総理大臣が中心となって政治の進め方を話し合っていることを理解している。
	○ 裁判所は、法律にもとづいて問題を解決し、国民の権利を守っていることを理解している。
	○ 裁判員制度について理解している。
	○ 国会・内閣・裁判所の三権相互の関係や三権と国民との関係について調べ、図に整理している。
思・判・表	○ 選挙権と、日本国憲法の「国民主権」や「基本的人権の尊重」を関連付けて考え、投票することの大切さについて話し合っている。
	○ 税金と身の回りの公共事業を関連付けて考え、自分のくらしとの関わりについて発表している。
	○ 「衆議院議員選挙の投票率の移り変わり」のグラフを見て、投票率が低い理由について考え、根拠を示しながら話し合っている。
	○ 国会・内閣・裁判所の三権相互の関係、裁判員制度や租税の役割などから、政治に参加する大切さを多角的に考え、文などにまとめている。
主体的に学習に取り組む態度	○ 国の政治と国民生活との関係について、調べたいことを考え、自分で学習問題をつくっている。
	○ 三権分立について、調べたり考えたりしたことをわかりやすく発言しようとしている。
	○ 「国の政治のしくみと選挙」の学習をして、わかったことを自分でふり返ってまとめている。
	○ 学習をもとに、国民として今後どのように政治に関わることができるか考えようとしている。

大単元名	1. わたしたちの生活と政治
中単元名	(選択単元)3. 子育て支援の願いを実現する政治

### 【到達目標】

知・技	○ 地方公共団体や国の政治は、国民主権の考え方にもとづいて、国民生活の安定と向上を図るために大切な働きをしていることがわかる。
	○ 地方公共団体や国の社会保障の取り組みについて、見学・調査したり、資料を調べたりして、わかったことをまとめることができる。
思・判・表	○ 地方公共団体や国の社会保障の取り組みと国民生活を関連付け、国民生活における政治の働きについて考えることができる。
	○ 地方公共団体や国の社会保障の取り組みにおける計画から実施までの過程、実施するための法令や予算との関わりなどから、国民としての政治への関わり方について多角的に考え、文などで表現することができる。
主体的に学習に取り組む態度	○ 地方公共団体や国の社会保障の取り組みと国民生活との関係について、学習の進め方を見直しながら進んで調べたり考えたりしようとする。
	○ 学習をもとに、地方公共団体や国の政治が国民生活に果たす役割の大切さについて、関心をもって考えようとする。

### 【評価規準】

知・技	○ 見学・調査などをして、身近な地域の公共施設と、どのような人がそれらを利用しているか調べている。
	○ 児童センターの活動には、市民の願いが生かされていることを理解している。
	○ 市民の願いを実現するための市役所の働きについて理解している。
	○ 市議会のしくみや働きについて理解している。
	○ 市民と市役所、市議会の関係を調べ、図にまとめている。
	○ 市民の願いが実現するまでの経緯について理解している。
	○ 市民の願いの実現に向けて、市が県や国と協力していることを理解している。
	○ 公共施設の建設・運営の費用には税金が使われていることを理解している。
思・判・表	○ 公共施設の活動を、市民の願いと関連付けて考え、話し合っている。
	○ 市の政治のしくみを国の政治のしくみと比較して考えている。
	○ 市民と市役所、市議会の関係の図をもとに、市民の願いが実現するまでの政治の働きについて、根拠を示しながら話し合っている。
	○ 市民が市の政治に関わる大切さについて多角的に考え、発表している。
	○ 社会保障の視点から、納税について考え、話し合っている。
主体的に学習に取り組む態度	○ 市や国の社会保障の取り組みと市民生活との関係について、調べたいことを考え、自分で学習問題をつくっている。
	○ 市や県、国の政治の働きが市民生活に果たす役割の大切さを考え、自分のくらしと関連付けて考えようとしている。
	○ 「子育て支援の願いを実現する政治」の学習をして、わかったことを自分でふり返ってまとめている。
	○ 学習をもとに、市民として今後どのように自分がくらしの政治に関わることができるか考えようとしている。

大単元名	1. わたしたちの生活と政治
中単元名	(選択単元)3. 震災復興の願いを実現する政治

### 【到達目標】

知・技	○ 地方公共団体や国の政治は、国民主権の考え方にもとづいて、国民生活の安定と向上を図るために大切な働きをしていることがわかる。
	○ 災害からの復旧・復興における、地方公共団体や国の政治の働きについて、見学・調査したり、資料を調べたりして、わかったことをまとめることができる。
思・判・表	○ 災害からの復旧・復興における、地方公共団体や国の取り組みと国民生活を関連付け、国民生活における政治の働きについて考えることができる。
	○ 地方公共団体や国の政治の取り組みにおける計画から実施までの過程、実施するための法令や予算との関わりなどから、国民としての政治への関わり方について多角的に考え、文などで表現することができる。
主体的に学習に取り組む態度	○ 災害からの復旧・復興における、地方公共団体や国の政治と国民生活との関係について、学習の進め方を見直しながら進んで調べたり考えたりしようとする。
	○ 学習をもとに、地方公共団体や国の政治が国民生活に果たす役割の大切さについて、関心をもって考えようとする。

### 【評価規準】

知・技	○ 震災直後と現在の気仙沼の写真を比較して、まちの様子の違いを読み取っている。
	○ 震災の被害の様子について理解している。
	○ 資料などから、震災直後の市や県、国の緊急対応について調べている。
	○ 災害時に備えて、市や県、国は日頃から協力して、災害に対応する体制を整えていることを理解している。
	○ 復旧・復興を進めるための国の取り組みについて理解している。
	○ 復旧・復興にかかる費用には税金が使われていることを理解している。
	○ 復興に向けたまちづくりに関わる市や市民の工夫や努力について理解している。
	○ 災害にあった人々のそれぞれの願いに対応した市や県、国の働きを調べ、表に整理している。
思・判・表	○ 震災直後から現在のまちの姿になるまで、どのように変化したのか想像し、話し合っている。
	○ 被災地が復旧・復興するまで、市や県、国がどのような取り組みをしているかを図などにまとめて多角的に考え、話し合っている。
	○ 災害の復旧・復興の視点から、納税について考え、話し合っている。
	○ 災害にあった人々の願いを市や県、国の政治の働きと関連付けて考え、発表している。
	○ 復興を進めるための課題を新しいまちづくりの取り組みと関連付けて考え、ノートにまとめている。
主体的に学習に取り組む態度	○ 災害からの復旧・復興における、市や県、国の政治と市民生活との関係について、調べたいことを考え、自分で学習問題をつくっている。
	○ 復興に向けた新しいまちづくりを進めていくうえで大切なことは何か、自分のことばでノートにまとめている。
	○ 「震災復興の願いを実現する政治」の学習をして、わかったことを自分でふり返ってまとめている。
	○ 学習をもとに、市民として今後どのように自分ががらす市の政治に関わることができるか考えようとしている。

大単元名	2. 日本の歴史
中単元名	1. 縄文のむらから古墳のくにへ

### 【到達目標】

知・技	○ 狩猟・採集の生活や農耕の生活、古墳、大和朝廷(大和政権)による統一の様子から、世の中の様子がむらからくにへと変化したことがわかる。
	○ 国が形成されるまでの世の中の変化について、遺跡や遺物、想像図や地図、年表などの資料で調べ、わかったことをまとめることができる。
思・判・表	○ 狩猟・採集の生活と農耕の生活の様子から、当時の人々の生活の変化について考え、文などで表現することができる。
	○ 農耕の広がりによるむらの変化、古墳の出現と広がり、大和朝廷の出現と支配の広がりなどから、世の中の様子の変化について考え、文などで表現することができる。
主体的に学習に取り組む態度	○ 農耕の始まりによる世の中の様子の変化について、学習の進め方を見直しながら進んで調べたり考えたりしようとする。
	○ 学習をもとに、日本の国の成り立ちや国の形成について考えようとする。

### 【評価規準】

知・技	○ 写真や想像図などの資料から、縄文のむらと弥生のむらについて調べている。
	○ 米づくりが伝わり、むらの様子が変化したことを理解している。
	○ 強い力をもったむらが周辺のむらを従え、くにへと発展していったことを理解している。
	○ 卑弥呼についての文章資料を読んで、当時の世の中の様子を理解している。
	○ 写真資料などから、渡来人によってどのようなものが伝えられたかを調べている。
	○ 古墳や古墳からの出土品の写真、古墳づくりの様子の想像図などの資料から、古墳について調べている。
	○ 古墳の分布図などの資料から、力のある王や豪族が各地にいたことを読み取っている。
	○ 古墳の分布図や写真資料などから、大和朝廷がどのように力を広げていったかについて調べている。
	○ 神話・伝承などを手がかりに、国の統一について調べている。
思・判・表	○ 縄文のむらと弥生のむらの想像図を比較して、むらの様子の変化について考え、話し合っている。
	○ 弥生時代になり、むらどうして争いが起きた原因について考え、文などにまとめている。
	○ 巨大な古墳と古墳づくりの作業をしている様子について、王や豪族の力の大きさと関連付けて文などにまとめている。
	○ 全国の前方後円墳の分布を表す地図と2つの古墳から発見された刀剣の写真から、大和朝廷の力の広がりやその後の国の統一を関連付けて考え、発表している。
主体的に学習に取り組む態度	○ 縄文のむらと弥生のむらの想像図を比較して、疑問に思うことを整理し、自分で学習問題をつくっている。
	○ 米づくりが始まる前後のくらしや米づくりの広がりによる世の中の変化について、自分のことばでノートにまとめている。
	○ 「縄文のむらから古墳のくにへ」の学習の中で、友だちとの話し合いを通して自分の考えを見直している。
	○ 「縄文のむらから古墳のくにへ」の学習をして、わかったことを自分でふり返ってまとめている。

大単元名	2. 日本の歴史
中単元名	2. 天皇中心の国づくり

### 【到達目標】

知・技	○ 大陸文化を取り入れた天皇中心の政治が確立されたことがわかる。
	○ 天皇中心の国づくりに関わった人たちの願い，当時の人々の生活の様子がわかる。
	○ 聖徳太子の時代から聖武天皇の時代までのできごとについて，写真・地図・年表などの資料で調べ，わかったことをまとめることができる。
思・判・表	○ 聖徳太子がめざした新しい国づくり，大化の改新後に進められた天皇中心の政治，聖武天皇が行った政治などから，この頃の世の中の様子について考え，文などで表現することができる。
	○ 法隆寺の建築や大仏の規模などから，大陸文化の特色や天皇の力の大きさについて考え，文などで表現することができる。
主体的に学習に取り組む態度	○ 天皇中心の国づくりについて，学習の進め方を見直しながら進んで調べたり考えたりしようとする。
	○ 学習をもとに，聖徳太子や聖武天皇の国づくりへの思いや願い，それらを支えた人々の暮らしについて考えようとする。

### 【評価規準】

知・技	○ 写真や地図などの資料から，聖徳太子がめざした国づくりと大陸の政治・文化との関係について調べている。
	○ 聖徳太子が行ったことについて理解している。
	○ 大化の改新について理解している。
	○ 律令制による人々の負担について調べて，表などに整理している。
	○ 地図や年表などの資料から，聖武天皇が位についた頃の世の中の様子について調べている。
	○ 聖武天皇が仏教の力で国を治めようとしたことを理解している。
	○ 天皇の命令によって，全国から人や物資が集められて大仏がつくられたことを理解している。
	○ 大仏づくりに協力した行基の業績と役割について調べ，ノートにまとめている。
	○ 写真や地図などの資料から，遣唐使や正倉院の宝物などについて調べている。
	○ 聖武天皇が大陸のすぐれた文化を取り入れて，国づくりに役立っていたことを理解している。
思・判・表	○ 聖徳太子のめざした国づくりについて考え，話し合っている。
	○ 都のにぎわいを支えるために，地方の人々が重い税で苦しんでいたことを律令制と関連付けて考えている。
	○ 聖武天皇がどのような願いや思いをもって国分寺を建てたり，大仏をつくろうとしたりしたのかを考え，文などにまとめている。
	○ 大仏づくりのために全国から人や物資が集められたことや，東大寺が国分寺の中心であったことから，天皇の力の大きさについて考え，話し合っている。
	○ 遣唐使や鑑真の来日，正倉院の宝物などを関連付けて，日本と世界との関係について考え，発表している。
主体的に学習に取り組む態度	○ 天皇を中心とした政治が確立される過程について，調べたいことを考え，自分で学習問題をつくっている。
	○ 大陸の文化について，地図や年表などを使って，自分のことばでノートにまとめている。
	○ 「天皇中心の国づくり」の学習の中で，友だちとの話し合いを通して自分の考えを見直している。
	○ 「天皇中心の国づくり」の学習をして，わかったことを自分でふり返ってまとめている。

大単元名	2. 日本の歴史
中単元名	3. 貴族のくらし

### 【到達目標】

知・技	○ 貴族が政治の中心になって大きな力をもつとともに、はなやかなくらしをしていたことがわかる。
	○ 貴族のくらしや世の中の様子をもとに、日本風の文化が生まれ、現在まで引きつがれていることがわかる。
	○ 貴族のくらしの様子や文化について写真や絵画などの資料で調べ、わかったことをまとめることができる。
思・判・表	○ 貴族のくらし、世の中の様子などから京都に都が置かれた頃の文化の特色を考え、文などで表現することができる。
主体的に学習に取り組む態度	○ 貴族のくらしの中から生まれた文化について、学習の進め方を見直しながら進んで調べたり考えたりしようとする。
	○ 学習をもとに、京都に都が置かれた頃の文化の特色について関心をもって考えようとする。

### 【評価規準】

知・技	○ 天皇にかわり、貴族が政治の中心になっていることを理解している。
	○ 寝殿造のやしきの想像図から、貴族のくらしの様子について調べている。
	○ 絵画や写真、想像図などの資料から、貴族のくらしの中からどのような行事や文化が生まれたのか調べている。
	○ 朝廷に仕えた女性たちが多くの作品を残していることを理解している。
	○ 今に伝えられているものについて調べ、ノートにまとめている。
	○ 写真などの資料から、平安時代の文化財について調べている。
思・判・表	○ 藤原氏がどのようにして大きな力をもったかについて考え、話し合っている。
	○ 貴族が政治の中心になって大きな力をもったことを貴族のくらしの様子と関連付けて考えている。
	○ 貴族のくらしの様子や服装、年中行事、かな文字や和歌などから文化の特色について考え、文などにまとめている。
	○ 平安時代に生まれた文化と現在のくらしを関連付けて考え、発表している。
主体的に学習に取り組む態度	○ 貴族のくらしの中から生まれた文化について、調べたいことを考え、自分で学習問題をつくっている。
	○ 貴族のくらしの中から生まれ、現在まで受けつがれているものを、これからも大切にしていこうと考えている。
	○ 「貴族のくらし」の学習をして、わかったことを自分でふり返ってまとめている。

大単元名	2. 日本の歴史
中単元名	4. 武士の世の中へ

### 【到達目標】

知・技	○ 源平の戦い、鎌倉幕府の始まり、元との戦いの様子から、貴族にかわって、武士による政治が始まったことがわかる。
	○ 源平の戦い、鎌倉幕府の始まり、元との戦いの様子について、年表や地図、写真などの資料で調べ、わかったことをまとめることができる。
思・判・表	○ 武士の台頭や源平の戦いの様子、鎌倉幕府のしくみ、元との戦いなどから、武士による政治が始まった頃の世の中の様子について考え、文などで表現することができる。
	○ 源平の戦いや鎌倉幕府の政治のしくみ、元との戦いに関わる人物の働きなどから、武士による政治について考え、文などで表現することができる。
主体的に学習に取り組む態度	○ 貴族にかわり武士による政治が始まったことについて、学習の進め方を見直しながら進んで調べたり考えたりしようとする。
	○ 学習をもとに、源平の戦いや鎌倉幕府による政治、元との戦いなどに関わった人々の思いや願いについて考えようとする。

### 【評価規準】

知・技	○ 武士のやかたの想像図から、武士のくらしの様子について調べている。
	○ 武士が力をつけて政治を動かすようになったことを理解している。
	○ 平氏と源氏が互いに争っていたことを理解している。
	○ 源平の戦いを示す絵図や地図などの資料から、勢力の変化について読み取っている。
	○ 鎌倉幕府の政治のしくみを理解している。
	○ ご恩と奉公の関係について理解している。
	○ 源氏の将軍が絶えた後、北条氏が政治を行ったことを理解している。
	○ 絵図や地図などの資料から、元軍との戦いの様子について調べている。
	○ 元軍との戦いの後、鎌倉幕府の力が弱まったことを理解している。
思・判・表	○ 武士のくらしと貴族のくらしの違いを比較して、文などにまとめている。
	○ 源平の戦いを示す絵図や年表、地図などの資料から、平氏が源氏に負けた理由を考え、話し合っている。
	○ 源頼朝が鎌倉に幕府を開いた理由を考え、文などにまとめている。
	○ 源氏の将軍が絶えた後、北条氏がどのようにして幕府の支配力を強めたかを考え、文などにまとめている。
	○ 元軍との戦いの様子を「ご恩と奉公の関係」と関連付けて考え、話し合っている。
	○ 鎌倉幕府の衰退を元軍との戦いと関連付けて考え、発表している。
主体的に学習に取り組む態度	○ 武士による政治の始まりについて、調べたいことを考え、自分で学習問題をつくっている。
	○ 元軍との戦いに参加した武士たちの思いや願いを自分のことばで説明しようとしている。
	○ 「武士の世の中へ」の学習をして、わかったことを自分でふり返ってまとめている。

大単元名	2. 日本の歴史
中単元名	5. 今に伝わる室町文化

### 【到達目標】

知・技	○ 京都の室町に幕府が置かれた頃につくられた建造物や絵画などから、現在の暮らしにつながる室町文化が生まれたことがわかる。
	○ 金閣や銀閣などの建造物や水墨画などの絵画、芸能について、写真や絵図、地図や年表などの資料で調べ、わかったことをまとめることができる。
思・判・表	○ 代表的な建造物や絵画、世の中の様子から、京都の室町に幕府が置かれた頃の文化の特色を考え、文などで表現することができる。
主体的に学習に取り組む態度	○ 代表的な建造物や絵画について、学習の進め方を見直しながら進んで調べたり考えたりしようとする。
	○ 学習をもとに、京都の室町に幕府が置かれた頃の文化の特色について、関心をもって考えようとする。

### 【評価規準】

知・技	○ 足利義満が建てた金閣と足利義政が建てた銀閣について理解している。
	○ 写真などの資料から、東求堂の書院造の部屋の特色について調べている。
	○ 絵画などの資料から、雪舟と雪舟のえがいた墨絵について調べている。
	○ 絵画や写真などの資料から、室町時代の人々の暮らしについて調べている。
	○ 茶の湯・生け花・能・狂言など、現在も受けつがれている室町文化や習慣について理解している。
思・判・表	○ 今までの学習の中で出てきた建造物や文化の特色をふり返り、発表している。
	○ 東求堂の書院造の部屋と現在の和室を比較して、共通点や相違点について考え、話し合っている。
	○ 室町時代に生まれた生活習慣を現在の暮らしと関連付けて考えている。
	○ 室町時代に生まれた文化が現在も受けつがれている理由を考え、発表している。
主体的に学習に取り組む態度	○ 京都の室町に幕府が置かれた頃の文化について、調べたいことを考え、自分で学習問題をつくっている。
	○ 現在の暮らしに受けつがれているものについて、今もなお人々に親しまれていることに気づき、これからも大切にしていこうと考えている。
	○ 「今に伝わる室町文化」の学習をして、わかったことを自分でふり返ってまとめている。

大単元名	2. 日本の歴史
中単元名	6. 戦国の世から天下統一へ

### 【到達目標】

知・技	○ キリスト教の伝来，織田・豊臣の天下統一をもとに，戦国の世が統一されたことがわかる。
	○ キリスト教の伝来の様子や織田信長と豊臣秀吉の政策について，地図や絵図，年表などの資料で調べ，わかったことをまとめることができる。
思・判・表	○ 戦国の世に果たした織田信長や豊臣秀吉の役割を考え，文などで表現している。
主体的に学習に取り組む態度	○ 戦国の世が統一された経過について，学習の進め方を見直しながら進んで調べたり考えたりしようとする。
	○ 学習をもとに，天下統一に向けての織田信長や豊臣秀吉の思いや願いについて，関心をもって考えようとする。

### 【評価規準】

知・技	○ 「長篠の戦い」の屏風絵などの資料から，当時の戦いの様子について調べている。
	○ 織田信長と豊臣秀吉の年表から，2人の歩みや相互関係について調べている。
	○ 地図や年表などの資料から，戦国の世の頃の世界の様子について調べている。
	○ 日本にキリスト教が伝わり，南蛮貿易がさかんだったことを理解している。
	○ 織田信長の勢力図を見て，勢力の変化を読み取っている。
	○ 年表や地図，想像図などの資料から，織田信長が天下統一に向けて行った政策について調べている。
	○ 織田信長が新しい戦い方や政策で天下統一をめざしていたことを理解している。
	○ 年表や地図，想像図などの資料から，豊臣秀吉が天下統一に向けて行った政策について調べている。
	○ 豊臣秀吉が天下統一を果たし，武士の社会のしくみを整えていったことを理解している。
思・判・表	○ 「長篠の戦い」の屏風絵を見て，戦い方の工夫について考え，話し合っている。
	○ 日本にキリスト教が伝わったことを織田信長の政策や豊臣秀吉の政策と関連付けて考えている。
	○ 織田信長がどのようにして勢力を伸ばしたかについて考え，文などにまとめている。
	○ 豊臣秀吉がどのようにして天下統一を達成したかについて考え，文などにまとめている。
主体的に学習に取り組む態度	○ 織田信長と豊臣秀吉の政策から，天下統一における2人の役割について考え，発表している。
	○ 戦国の世が統一されたことについて，調べたいことを考え，自分で学習問題をつくっている。
	○ 天下統一をめざした織田信長と豊臣秀吉の思いや願いを自分のことばで説明しようとしている。
	○ 「戦国の世から天下統一へ」の学習をして，わかったことを自分でふり返ってまとめている。

大単元名	2. 日本の歴史
中単元名	7. 江戸幕府と政治の安定

### 【到達目標】

知・技	○ 江戸幕府が政治を行った頃、武士による政治が安定したことがわかる。
	○ 徳川家康や徳川家光の業績、江戸幕府の政策について、地図や絵図、年表などの資料で調べ、わかったことをまとめることができる。
思・判・表	○ 関ヶ原の戦い、江戸幕府の大名配置、武家諸法度、参勤交代、鎖国、身分制などから、江戸幕府の政策の意図や社会の様子について考え、文などで表現することができる。
主体的に学習に取り組む態度	○ 江戸幕府の政治が長期にわたり安定した背景について、学習の進め方を見直しながら進んで調べたり考えたりしようとする。
	○ 学習をもとに、武士による安定した政治のしくみをつくり上げていった徳川家康や徳川家光の思いや願いについて、考えようとする。

### 【評価規準】

知・技	○ 「関ヶ原の戦い」の様子について調べ、ノートにまとめている。
	○ 徳川家康が江戸幕府を開き、江戸幕府の基礎をつくったことを理解している。
	○ 徳川家光の頃、江戸幕府の支配体制が確立したことを理解している。
	○ 江戸幕府が行った政策について調べている。
	○ 江戸幕府が鎖国政策をするまでの経過について理解している。
	○ 江戸幕府が鎖国政策を行った後の国内の様子について調べている。
	○ 江戸幕府の身分制のもとでの人々の暮らしについて理解している。
思・判・表	○ 江戸幕府のしくみを鎌倉幕府のしくみと比較して考え、話し合っている。
	○ 江戸幕府がどのように大名を支配したのかについて、参勤交代などの政策と関連付けて考え、文などにまとめている。
	○ 鎖国政策を行う前と後の日本の外交の変化について考え、話し合っている。
	○ 江戸幕府が武士以外の人々をどのように支配したのか、身分制と人々の暮らしから考え、文や表などにまとめている。
	○ 江戸幕府が政治を安定させるために人々に対して行ったことを整理し、それぞれの立場の人がどのように思ったかを考えて、文などにまとめている。
主体的に学習に取り組む態度	○ 武士による政治が安定したことについて、調べたいことを考え、自分で学習問題をつくっている。
	○ 江戸幕府の政治を安定させようとした徳川家康や徳川家光の思いや願いを、自分のことばで説明しようとしている。
	○ 「江戸幕府と政治の安定」の学習をして、わかったことを自分でふり返ってまとめている。

大単元名	2. 日本の歴史
中単元名	8. 町人の文化と新しい学問

### 【到達目標】

知・技	○ 江戸幕府が政治を行った頃、町人の文化が栄え、新しい学問がおこったことがわかる。
	○ 歌舞伎や浮世絵、国学や蘭学について、地図や絵図、年表などの資料で調べ、わかったことをまとめることができる。
思・判・表	○ 歌舞伎や浮世絵が町人の間に広がったことや、国学や蘭学などの新しい学問がおこったことから、江戸に幕府が置かれた頃の文化の特色を考え、文などで表現することができる。
	○ 町人の文化や新しい学問を生み出した人物の業績を考え、文などで表現することができる。
主体的に学習に取り組む態度	○ 江戸幕府が政治を行った頃、町人の文化が栄え、新しい学問がおこったことについて、学習の進め方を見直しながら進んで調べたり考えたりしようとする。
	○ 学習をもとに、江戸に幕府が置かれた頃の文化の特色について、関心をもって考えようとする。

### 【評価規準】

知・技	○ 社会の安定によって、町人の文化や新しい学問がおこったことを理解している。
	○ 歌舞伎や浮世絵を生み出した人物について理解している。
	○ 歌舞伎や浮世絵が人々の間で親しまれ、広まったことを理解している。
	○ 新しい学問である蘭学が発達したことを理解している。
	○ 伊能忠敬の業績から、正確な日本地図がつけられたことを理解している。
	○ 新しい学問である国学の考え方について理解している。
	○ 年表などの資料から、蘭学や国学が発展した頃の社会について調べている。
	○ 武士以外の子どもにも教育が行われていたことを理解している。
思・判・表	○ 江戸時代のまちや人々の様子をこの頃の社会の安定と関連付けて、話し合っている。
	○ 平安文化や室町文化と比較して、江戸時代の文化の特色を考え、文や表などにまとめている。
	○ 歌舞伎や浮世絵が流行した背景について考え、文などにまとめている。
	○ 蘭学や国学が政治や社会にあたえた影響を当時の鎖国下の日本と関連付けて考えている。
主体的に学習に取り組む態度	○ 町人の文化が栄え、新しい学問がおこったことについて、調べたいことを考え、自分で学習問題をつくっている。
	○ 江戸時代に生まれた町人の文化や学問の中で、今もなお人々に親しまれているものについて、これからも大切にしていこうと考えている。
	○ 町人の文化や新しい学問を生み出した人物の思いや願いを自分のことばで説明しようとしている。
	○ 「町人の文化と新しい学問」の学習をして、わかったことを自分でふり返ってまとめている。

大単元名	2. 日本の歴史
中単元名	9. 明治の国づくりを進めた人々

### 【到達目標】

知・技	○ 明治維新以降，日本が欧米の文化を取り入れつつ近代化を進めたことがわかる。
	○ 黒船の来航，廃藩置県や四民平等などの改革，文明開化，自由民権運動の発展，大日本帝国憲法の発布や帝国議会の開設について，地図や年表などの資料で調べ，わかったことをまとめることができる。
思・判・表	○ 明治新政府がつくった政治のしくみや世の中の様子の変化について考え，文などで表現することができる。
	○ 明治の新しい国づくりに関わった人物の働きやその思いや願いを考え，関係図や文などで表現することができる。
主体的に学習に取り組む態度	○ 明治維新以降の日本の近代化について，学習の進め方を見直しながら進んで調べたり考えたりしようとする。
	○ 学習をもとに，明治の新しい国づくりに関わった人物の思いや願いについて関心をもって考えようとする。

### 【評価規準】

知・技	○ ペリー来航により，日本が開国したことを理解している。
	○ 江戸幕府が不平等な条約を結んだことを理解している。
	○ 年表や絵画，写真などの資料から，開国後の江戸幕府の対応や政権返上までの流れについて調べている。
	○ 文明開化による人々のくらしの変化について理解している。
	○ 明治新政府が行った改革について理解している。
	○ 明治新政府に関わった人物たちの業績について調べ，表などにまとめている。
	○ 板垣退助を中心に自由民権運動が日本各地に広まったことを理解している。
	○ 天皇主権の大日本帝国憲法が発布されたことを理解している。
	○ 大日本帝国憲法にもとづく国のしくみについて，理解している。
思・判・表	○ 江戸末期と明治初期の絵画や写真を比較して世の中の変化について考え，話し合っている。
	○ 明治新政府がめざした新しい国について，明治新政府が行った改革と関連付けて考えている。
	○ 新しい世の中に対する福沢諭吉の思いや願いについて考え，話し合っている。
	○ 政府の改革に不満をもつ人々の活動の変化について考え，文などにまとめている。
	○ 大日本帝国憲法にもとづく国のしくみについて，現在の日本のしくみと比較して考えている。
	○ 明治維新以降に活躍した人々の相互関係を整理し，関係図にまとめている。
主体的に学習に取り組む態度	○ 明治の新しい国づくりについて，調べたいことを考え，自分で学習問題をつくっている。
	○ 開国による人々のくらしの変化や明治新政府の改革などについて，調べたり考えたりしたことをわかりやすく発言しようとしている。
	○ 明治の新しい国づくりに関わった人物たちの思いや願いを自分のことばで説明しようとしている。
	○ 「明治の国づくりを進めた人々」の学習をして，わかったことを自分でふり返ってまとめている。

大単元名	2. 日本の歴史
中単元名	10. 世界に歩み出した日本

### 【到達目標】

知・技	○ 日清・日露の戦争，不平等な条約の改正，科学の発展などから，日本の国力が充実し，国際的地位が向上したことがわかる。
	○ 日清・日露の戦争，不平等な条約の改正，科学の発展などについて，地図や年表などの資料で調べ，わかったことをまとめることができる。
思・判・表	○ 日本の国際的地位の向上をめざす明治政府の意図や世の中の様子について考え，文などで表現することができる。
	○ 日清・日露の戦争，不平等な条約の改正，科学の発展などで活躍した人物の働きやその思いや願いについて，文などで表現することができる。
主体的に学習に取り組む態度	○ 日本の国力や国際的地位の変化について，学習の進め方を見直しながら進んで調べたり考えたりしようとする。
	○ 学習をもとに，日清・日露の戦争，不平等な条約の改正，科学の発展などで活躍した人物の思いや願いについて，関心をもって考えようとする。

### 【評価規準】

知・技	○ 江戸幕府が幕末に欧米諸国と結んだ条約が不平等な内容であることを理解している。
	○ 風刺画や年表などの資料から，不平等な条約によって日本が受けた不利な状況について調べている。
	○ 条約改正の交渉が日本の近代化の遅れを理由に進まなかったことを理解している。
	○ 日清・日露の戦争が起こった経過を理解している。
	○ 地図やグラフ，写真などの資料から，日清・日露の戦争について調べている。
	○ 日本が朝鮮を植民地にしたことを理解している。
	○ 条約改正を実現した陸奥宗光や小村寿太郎の働きを理解している。
	○ 写真や年表などの資料から，国際社会で活躍した人物の業績や生い立ちについて調べている。
	○ 産業の発展によって，人々の生活や社会が変化し，自由・権利などを求める社会運動が起こったことを理解している。
思・判・表	○ ノルマントン号事件が起きた原因を江戸幕府が結んだ不平等な条約と関連付けて考え，発表している。
	○ 産業の発展を条約改正と関連付けて考えている。
	○ 日清・日露の戦争について2つの戦況を比較して整理し，中国やロシアとの関係について考えている。
	○ 日清・日露の戦争の勝利が国際社会に与えた影響や，日本人の意識の変化について考え，文などにまとめている。
	○ 条約改正や国際社会での日本人の活躍を日本の国際的地位の向上と関連付けて考えている。
	○ 産業の発展によって起こった問題に関わった人々の思いや願いについて考え，話し合っている。
主体的に学習に取り組む態度	○ 日本の国際的地位が変化し，条約改正を達成するまでの経過について，調べたいことを考え，自分で学習問題をつくっている。
	○ 日本の国力や国際的地位の変化について，調べたり考えたりしたことをわかりやすく発言しようとしている。
	○ 日本の国力の充実や国際的地位の向上に関わった人物たちの思いや願いを自分のことばで説明しようとしている。
	○ 「世界に歩み出した日本」の学習をして，わかったことを自分でふり返ってまとめている。

大単元名	2. 日本の歴史
中単元名	11. 長く続いた戦争と人々の暮らし

### 【到達目標】

知・技	○ 日中戦争や日本に関わる第二次世界大戦から、戦争の広がりや国民生活の変化についてわかる。
	○ 日本が戦争を続ける中で、日本国民やアジア・太平洋の国々や地域に住む人々が大きな被害を受けたことがわかる。
	○ 日中戦争や日本に関わる第二次世界大戦について、地図や年表、写真などの資料で調べ、わかったことをまとめることができる。
思・判・表	○ 戦争中の国民生活の様子から、国民が大きな被害を受けたことについて考え、文などで表現することができる。
	○ 日中戦争や日本に関わる第二次世界大戦から、戦争の悲惨さや平和の大切さについて考え、文などで表現することができる。
主体的に学習に取り組む態度	○ 戦争の広がりや当時の国民生活について、学習の進め方を見直しながら進んで調べたり考えたりしようとする。
	○ 学習をもとに、戦争の悲惨さや平和の大切さについて関心をもって考えようとする。

### 【評価規準】

知・技	○ 満州事変、日中戦争を起こした理由や、中国との戦争の広がりについて理解している。
	○ 日本がアジアや太平洋の地域に戦場を広げていった様子を地図などで調べている。
	○ 世界で第二次世界大戦が始まった頃、日本がアジアや太平洋に向けて戦争の範囲を広げていったことを理解している。
	○ 戦争中、国民を戦争に協力させるために、日本政府が戦時体制を強めたことを理解している。
	○ 戦争中の国民生活の様子について、聞き取りや資料を活用するなどして調べたことを整理して、ノートにまとめている。
	○ 日本の労働力を補うために、朝鮮や中国の人々も戦争に協力させられていたことを理解している。
	○ 日本の各地の都市が受けた空襲と、その被害の様子について調べている。
	○ 沖縄では唯一の地上戦が行われ、広島と長崎には原子爆弾が落とされたことを理解している。
	○ 戦争によって、日本国民やアジア・太平洋の国々や地域に住む人々など、多くの人が大きな犠牲を払ったことを理解している。
思・判・表	○ 原爆ドームが世界文化遺産になった理由を考え、話し合っている。
	○ 満州事変や日中戦争を昭和時代の不景気と関連付けて考え、中国各地への戦争の広がりや人々への被害について話し合っている。
	○ 日本とアメリカの軍事力の差を表す資料などから、戦争の実態について考え、発表している。
	○ 戦争の長期化や戦場の拡大による国民生活への影響について考え、話し合っている。
	○ 戦争中の写真や標語から、戦時体制下の国民生活の様子について考え、文などにまとめている。
	○ 戦争の実態や戦争が人々にあたえた影響などから平和の大切さについて考え、発表している。
主体的に学習に取り組む態度	○ 戦争の長期化による国民生活への影響について、調べたいことを考え、自分で学習問題をつくっている。
	○ 戦争の広がりや当時の国民生活について、調べたり考えたりしたことをわかりやすく発言しようとしている。
	○ 戦時体制下の学校生活や学童疎開などの様子から、当時の子どもたちの思いについて考え、自分のことばで説明しようとしている。
	○ 学習してきたことや話し合ってきたことをもとに、戦争の悲惨さや平和の大切さについて考えようとしている。
	○ 「長く続いた戦争と人々の暮らし」の学習をして、わかったことを自分でふり返ってまとめている。

大単元名	2. 日本の歴史
中単元名	12. 新しい日本, 平和な日本へ

### 【到達目標】

知・技	○ 第二次世界大戦後、日本が民主主義国家として出発し、国民生活が向上するとともに、国際社会において重要な役割を果たしてきたことがわかる。
	○ 戦後改革や日本国憲法の制定、オリンピック・パラリンピック開催などについて、聞き取り調査や地図・写真などの資料で調べ、わかったことをまとめることができる。
思・判・表	○ 第二次世界大戦後、日本の政治や国民生活が大きく変わったことや、国際社会に復帰し、国際社会において果たしてきた役割を考え、文などで表現することができる。
主体的に学習に取り組む態度	○ 日本の戦後の歩みについて、学習の進め方を見直しながら進んで調べたり考えたりしようとする。
	○ 学習をもとに、これからの日本の課題や果たすべき役割について、関心をもって考えようとする。

### 【評価規準】

知・技	○ 年代の異なる同じ場所の写真を比較して、戦前と戦後のまちの様子の違いや共通しているところを読み取っている。
	○ 戦争を体験した人から、終戦直後の様子について聞き取り、まとめている。
	○ 戦後の改革が進められ、平和で民主的な国家をめざしたことを理解している。
	○ 日本国憲法の制定について調べ、大日本帝国憲法との違いを表などに整理している。
	○ 国際社会への復帰や産業の発展など、日本の復興の経過について調べ、年表などに整理している。
	○ 日本の復興は、国民の努力によって進められてきたことを理解している。
	○ 日本は、アジアで初めてオリンピック・パラリンピックを開催し、国際社会に復興を示したことを理解している。
	○ 戦後から現在までにおいて、国内外で様々な課題が起きていることを理解している。
思・判・表	○ 終戦直後の写真を見て、当時の人々の生活の様子について考え、話し合っている。
	○ 年代の異なる同じ場所の写真を見て、人や建物の様子の変化について考え、話し合っている。
	○ 戦後の改革と日本国憲法を関連付けて考え、日本の民主化について文などにまとめている。
	○ 平和条約締結やアジアで初めてのオリンピック・パラリンピック開催などから、日本と世界の関係の変化や日本の役割について考えている。
	○ 日本の産業の発展と公害などの環境問題を関連付けて考え、戦後の国民生活の向上と変化について話し合っている。
	○ 学習してきたことをもとに、時代を表すキャッチフレーズを考え、発表している。
主体的に学習に取り組む態度	○ 日本の戦後の歩みについて、調べたいことを考え、自分で学習問題をつくっている。
	○ 終戦直後の写真を見て、当時の人々の気持ちを考えようとしている。
	○ 日本や世界の現状と課題について考え、自分のことばで説明しようとしている。
	○ 「新しい日本, 平和な日本へ」の学習をして、わかったことを自分でふり返ってまとめている。
	○ 歴史学習から学んだことを、現在やこれからの生き方にどのように役立てたらよいか、自分のことばでノートにまとめている。

大単元名	3. 世界の中の日本
中単元名	(選択単元)1. 日本とつながりの深い国々

### 【到達目標】

知・技	○ 日本と経済や文化などでつながりが深い国の人々の生活は、多様であることがわかる。
	○ スポーツや文化などを通して他国と交流し、異なる文化や習慣を尊重し合うことが大切であることがわかる。
	○ 日本と経済や文化などでつながりが深い国や地域の名称と位置、人々の生活の様子について、地図帳や地球儀などの資料で調べたり、調査したりして、わかったことをまとめることができる。
思・判・表	○ 外国の人々の生活の様子などから日本の文化や習慣との違いについて考え、文などで表現することができる。
	○ 外国の文化や習慣の相互理解のために、国際交流の果たす役割について多角的に考えたり、自分にできることを選択・判断したりして、根拠や理由を明確にして話し合うことができる。
主体的に学習に取り組む態度	○ 日本と経済や文化などでつながりの深い国について、学習の進め方を見直しながら進んで調べたり考えたりしようとする。
	○ 学習をもとに、日本や諸外国の伝統や文化を尊重し、外国の人々とともに生きるうえで大切なことについて考えようとする。

### 【評価規準】

知・技	○ 身の回りにある外国産のものや、外国との交流について調べている。
	○ 日本とつながりの深い国について、今まで学習してきたことや知っていることなどをノートに整理している。
	○ 地図や地球儀を使って、日本とつながりの深い国について調べている。
	○ 日本とつながりの深い国の人々の生活の様子、文化、産業、気候、宗教などについて調べ、ノートに整理している。
	○ 外国の人々の生活は多様であることを理解している。
	○ 異なる文化や習慣を尊重し合うことの大切さを理解している。
思・判・表	○ 日本とつながりの深い国の人々の生活の様子や文化には、どのような特色があるのか考え、文などにまとめている。
	○ 日本とつながりの深い国について、日本と比較して共通点や相違点について考え、表などにまとめている。
	○ スポーツや文化を通じた国際交流の事例から、国際交流の果たす役割について考え、話し合っている。
	○ 外国の人々とともに生きていくために、相互理解について、自分にできることを考えたり、選択・判断したりしてノートにまとめている。
主体的に学習に取り組む態度	○ 日本とつながりの深い国について、調べたいことを考え、自分で学習問題をつくっている。
	○ 自分が選択した国について、調べたり考えたりしたことをわかりやすく発言しようとしている。
	○ 日本と異なる文化や習慣を尊重し合うことの大切さについて、自分のことばでノートにまとめている。
	○ 「日本とつながりの深い国々」の学習をして、わかったことを自分でふり返ってまとめている。

大単元名	3. 世界の中の日本
中単元名	2. 世界の未来と日本の役割

### 【到達目標】

知・技	○ 日本は、平和な世界の実現のために国際連合の一員として重要な役割を果たしたり、諸外国の発展のために援助や協力を行ったりしていることがわかる。
	○ 日本が国際協力をしている国や地域の名称と位置、人々の生活の様子について、地図帳や地球儀などの資料で調べたり、調査したりして、わかったことをまとめることができる。
思・判・表	○ 地球規模で発生している課題の解決に向けた連携や協力などから、グローバル化する世界で日本が果たしている役割について多角的に考えることができる。
	○ 世界の人々とともに生きていくために大切なことについて、自分にできることを考えたり、選択・判断したりして、世界の平和に向けた自分の考えを文などで表現することができる。
主体的に学習に取り組む態度	○ グローバル化する世界で日本が果たしている役割について、学習の進め方を見直しながら進んで調べたり考えたりしようとする。
	○ 学習をもとに、世界で日本が果たす役割や世界の人々とともに生きていくために大切なことについて、関心をもって考えようとする。

### 【評価規準】

知・技	○ 世界には、紛争や貧困や環境問題などの様々な課題があることを理解している。
	○ 第二次世界大戦後に起きている国際紛争の地域について地図や地球儀で調べている。
	○ 国際連合は、世界の平和と安全を守り、人々の暮らしをよりよいものにするために活動していることを理解している。
	○ 国際連合にはどのような機関があるのか、その機関に日本はどのように関わっているのか調べている。
	○ 日本が国際連合の一員として、世界の国々と協力して大きな役割を果たしてきたことを理解している。
	○ 持続可能な社会を実現するための国際連合を中心とした国際的な取り組みについて調べている。
	○ 日本の国内外での環境を守る取り組みについて調べている。
	○ ODAやNGOの活動によって、多くの日本人が国際協力の分野で活躍していることを理解している。
	○ 世界や日本には、現地の人々と協力して環境保全に努めている人がたくさんいることを理解している。
思・判・表	○ 戦争や紛争、環境問題など、世界各地で様々な課題が起きている理由を考え、根拠を示しながら文にまとめている。
	○ ユニセフの活動について、第二次世界大戦後に日本がユニセフの支援を受けていたことと関連付けて考えている。
	○ 国際連合が示した17の「持続可能な開発目標」を見て、自分にできることを考えたり、選択・判断したりして話し合っている。
	○ 国際連合、ODA、NGOそれぞれの活動を比較して、共通点について考え、表や文などにまとめている。
	○ 国際連合の働きや日本の国際協力などから平和な世界の実現に向けた今後の日本の役割について多角的に考え、発表している。
主体的に学習に取り組む態度	○ 平和な世界の実現に向けた日本の役割について、調べたいことを考え、自分で学習問題をつくっている。
	○ 地球規模で発生している様々な課題と取り組みについて、調べたり考えたりしたことをわかりやすく発言しようとしている。
	○ 学習してきたことや話し合ってきたことをもとに、自分にできる国際協力の活動を考えている。
	○ 「世界の未来と日本の役割」の学習をして、わかったことを自分でふり返ってまとめている。